

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-86	小学校	音楽	音楽	第6学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽 604	小学生の音楽 6		

1. 編修の基本方針

豊かな未来を音楽でつむぐ

デジタル技術の進歩や、それに伴う社会の変化によって、子どもたちが新しい音楽に出会う機会は増えています。

音楽的な見方・考え方を働かせることによって、子どもたちが生活や社会の中の音や音楽と、より豊かに出会ったり、音楽の授業を通して、より豊かな音楽体験をしたりすることができるように、以下の3点を柱として、この教科書を編修いたしました。

① 子どもたちの心が動く。～主体的、協働的な学びを促す

子どもたちの「やってみたい」という意欲が自発的に生まれるように、学習の目当てやヒントとなるキャラクターの吹き出しを充実させ、子どもたちが主体的に学習を進めることができるようにしました。



② 子どもたちの思考が働く。～音楽科の確かな学力を育む

「歌う」「演奏する」「つくる」「聴く」という音楽科特有の学習活動を進めながら、音楽科における「知識・技能」の習得や「思考力・判断力・表現力等」の育成も着実に進めることができるように、教材や文章の示し方を工夫しました。



③ 音楽を生きていく力に。～生涯にわたって、豊かに音楽に親しむ態度を養う



身の回りにある音や音楽と、学校の授業で学習する内容とを結び付けることによって、音楽の学びを自分の人生に活かせるような人間に育ててほしい、という願いから、身の回りの事象を教材化したり、「体験型」の鑑賞学習などを取り入れたりすることで、子どもたちが実感をもちながら、それらの音や音楽のよさやおもしろさを感じ取ることができるように配慮しました。

1 子どもたちの心が動く。～主体的、協動的な学びを促す

① 子どもたちの学習意欲を引き出します。

ナビゲート役として、親しみやすいキャラクターが登場します。彼らの吹き出しがヒントになり、「この学習では、何に気付いて、何を工夫していくのか」ということを捉えやすくしているため、子どもたちの「やってみたい」という意欲が高まります。

パート	パートの役割	誰が楽器	誰がリズム・音を付けたらいい
①	メロディ		
②	かざりの旋律		
③	和音		
④	リズム		

P.18 ~ 21

② 魅力あふれる教材や学習活動によって、ワクワク感を引き出します。

協動的な学びを深められるように、楽曲に関する情報や学習の流れに関する情報を提示し、主体的に学習に取り組みながらも、音楽との出会いが豊かなものになるよう配慮しました。

P.22・23

既習の音楽教材と関連付けて取り上げることができる、ボイスパーカッションの音楽づくり教材を配置しました。

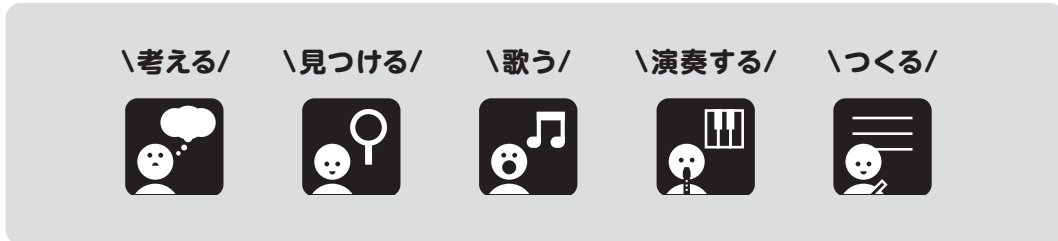
P.15

作詞者や作曲者の存在を意識することで、音楽に込められた思いを6年生なりに考えることができるように、コラムを設けました。

2 子どもたちの思考が働く。～音楽科の確かな学力を育む

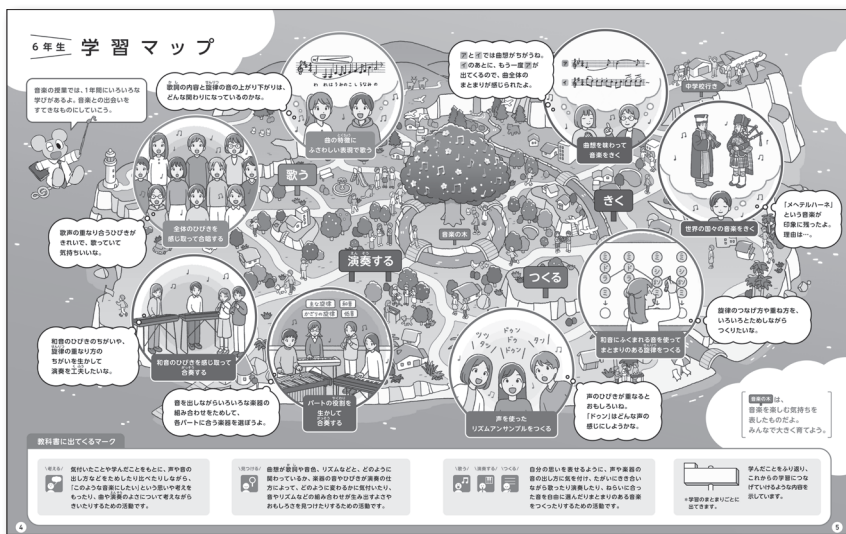
1 学習内容を見える化することによって、子どもたちの思考を刺激します。

「音楽に対してもった自分の思いをどう表現するのか」「この音楽のよさはどこにあるのか」といった「思考・判断・表現」や「知識」に関わる内容を意識しながら表現や鑑賞の学習を進めることができるように配慮し、子どもたち一人一人が学習の目当てをつかみやすいよう、「考える」「見つける」「歌う」「演奏する」「つくる」のアイコンを示しました。

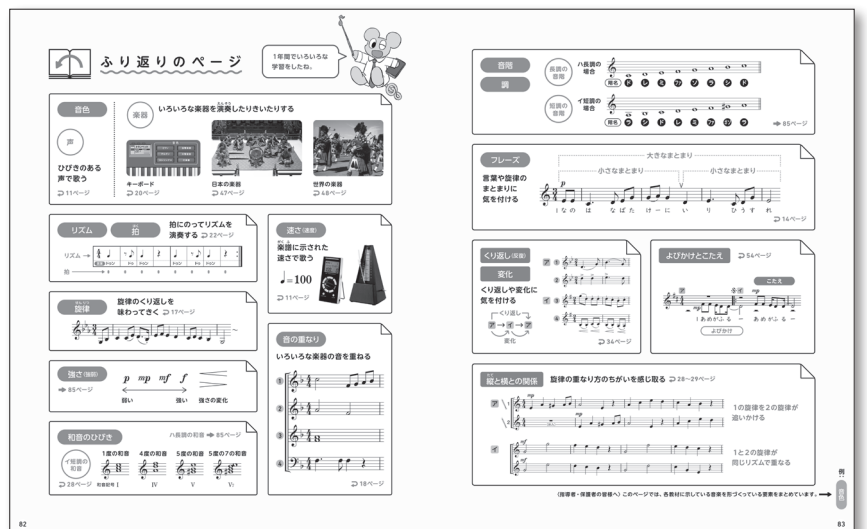


2 見通しをもった学びの実現

子どもたちが学習の見通しを立て、意欲をもって学習に取り組むことができるように、各学年の冒頭に「学習マップ」のページを設けました。また、それぞれの学年で学習する音楽を形づくっている要素をまとめて確認することができる「ふり返りのページ」も掲載しています。



P.4・5



P.82・83

3 音楽を生きていく力に。～生涯にわたって、豊かに音楽に親しむ態度を養う

1 音楽や文化を尊重する態度を養う。

次世代の文化を担う子どもたちの育成という観点から、世界のいろいろな国の音楽に触れる教材や、著作権について考えるきっかけとなる特集ページを設けました。



P.48・49



P.24・25

2 音楽的視野や価値観を広げる。

心豊かな生活を営むことができる社会の実現に寄与する態度を養うという観点から、音や音楽に対する考え方を広げたり深めたりすることができる特集や、6年間の学習をもとに多様な音楽に触れられる資料などを取り上げ、音楽活動を通して、自分たちの生活がより豊かに広がるように配慮しました。



P.43



P.76・77

特に意を用いた点

国歌「君が代」の尊重

国歌「君が代」への意識を高められるよう、すぐに開くことができる最終ページに配置しました。

国際理解教育の観点から、自国のみならず、他国の国歌も尊重する態度を養えるように、国歌を歌ったり聴いたりするときの一般的なマナーについて触れています。



P.86・87

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
巻頭口絵	指揮者として活躍している人が、音楽の魅力についてどのように感じているかということに触れることを通して、個人の価値や文化を尊重する態度を養えるようにしました。(第二号、第五号)	P.2・3
心をつなぐ歌声	未来への希望をもつ内容の歌を通して、自らの能力を伸ばそうとする態度を養えるようにしました。(第二号)	P.8・9
①歌声をひびかせて心をつなげよう	歌を通して我が国の美しい自然に対する思いを高められる写真やコラムを掲載しました。(第四号)	P.12～15
②いろいろな音のひびきを味わおう	パートの役割を知り、それぞれの役割を担うことを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるようにしました。(第三号)	P.18～21
	声の音色を工夫しながらボイスアンサンブルをつくる学習活動を通して、創造性を培えるようにしました。(第二号)	P.22・23
	自分たちがつくった作品も含めて、著作物を尊重する態度を養い、著作権に関心をもつことができる特集を設けました。(第一号、第三号)	P.24・25
③和音のひびきや音の重なりを感じ取ろう	短調の和音について理解し、その移り変わりを感じ取りながら演奏する学習活動を設定しました。(第一号)	P.28・29
	和音の音を使って旋律をつくる音楽づくりの学習活動を通して、創造性を培えるようにしました。(第二号)	P.30・31
④曲想の変化を楽しもう	曲想の変化をもたらす要素の働きに気づき、それらを生かしたり深めたりする学習活動を設定しました。(第一号)	P.32～35
⑤詩と音楽との関わりを味わおう	日本の自然の美しさを表現した曲を鑑賞することを通して、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。(第四号)	P.36～39
	音楽が社会の中で果たしている役割に気付く学習活動を通して、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第三号)	P.43
⑥日本や世界の音楽に親しもう	「越天楽今様」に関連して、雅楽「越天楽」を取り上げ、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養えるようにしました。(第五号)	P.46・47
	世界のいろいろな国の音楽に触れ、そのよさを感じ取る学習活動を通して、各国の文化に親しみをもち、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第五号)	P.48・49
⑦音楽で思いを伝えよう	卒業に当たって、感謝の気持ちを込めて歌う学習活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第三号)	P.50・51
	互いのパートを聴き合いながらアンサンブルをする学習活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第三号)	P.52・53
歌いっごう 日本の歌	季節や自然にまつわる歌を歌うことを通して、我が国の伝統と文化を尊重し、自然を大切にする態度を養えるようにしました。(第四号、第五号)	P.56・57
みんなで楽しく	合唱や合奏で互いのパートをよく聴き合って演奏する活動を通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養えるようにしました。(第三号)	P.58～75
	生命の大切さを歌う曲「いのちの歌」で、生命を尊ぶ態度を養うことができるようにしました。(第四号)	P.60・61
鑑賞資料 日本の古典芸能	我が国の古典芸能の歴史的な流れを俯瞰するページを設定し、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養えるようにしました。(第五号)	P.80・81
国歌「君が代」	国歌「君が代」と同じく、他国の国歌も尊重することを通して、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにしました。(第五号)	P.86・87

編修趣意書

(学習指導要領との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
104-86	小学校	音楽	音楽	第6学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽 604	小学生の音楽 6		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

① 主体的な学びや協働的な学びの充実

●主体的な学びを促すために、学習の手立ての示し方や教材配列を工夫するとともに、これまでに学んできたことを踏まえながら、友達との対話を通して学びを広げたり深めたりすることができるように配慮しました。

P.40 ~ 42

人々が大切にしてきた歌を味わい、
思いが伝わるように歌いましょう。

ふるさと
文筆家：高杉繁之
作詞：一久保、清原大助 編曲

この歌は、ふるさとを思う心で、大切に歌い継がれてきた歌です。歌詞やメロディに注目して、思いが伝わるように歌いましょう。

読むこと
歌詞をよく読み、曲調を感じ取りながら歌って、それらの特徴について感じ取ったことを話し合おう。

聴くこと
話し合ったことと照らし、思いをたしかめながら、「ふるさと」をもとに歌いたい歌を考えよう。

書くこと
作詞者や作曲者の思いを、自分なりに考えて歌詞やメロディを創作しよう。思いを表現しよう。

1~3番の歌詞の3行目、内容を比べてみよう。その違いを感じ取り、その部分がどのように歌われているか、話し合おう。

歌うこと
思いが伝わるように、発音の仕方や声の出しかたに気を付けて、たがいの歌声をよくきき合いながら歌いましょう。

チャレンジ
『ふるさと』について、家族や地域の人にインタビューしてみましょう。

話し合うこと
この歌について、どのような思いがありますか。
歌詞や曲のどの部分が、印象に残っていますか。
あなたにとってふるさととはどのような歌ですか。

P.36・37

言葉と旋律の美しさを感じ取りながら、
日本の歌を味わいましょう。

花
文筆家：新井白郎
作詞：新井白郎、作曲：新井白郎

この歌は、花の美しさを感じ取りながら、言葉と旋律の美しさを感じ取りながら、日本の歌を味わいましょう。

読むこと
歌詞をよく読み、曲調を感じ取りながら歌って、それらの特徴について感じ取ったことを話し合おう。

聴くこと
話し合ったことと照らし、思いをたしかめながら、「ふるさと」をもとに歌いたい歌を考えよう。

書くこと
作詞者や作曲者の思いを、自分なりに考えて歌詞やメロディを創作しよう。思いを表現しよう。

1~3番の歌詞の3行目、内容を比べてみよう。その違いを感じ取り、その部分がどのように歌われているか、話し合おう。

歌うこと
思いが伝わるように、発音の仕方や声の出しかたに気を付けて、たがいの歌声をよくきき合いながら歌いましょう。

チャレンジ
『花』について、家族や地域の人にインタビューしてみましょう。

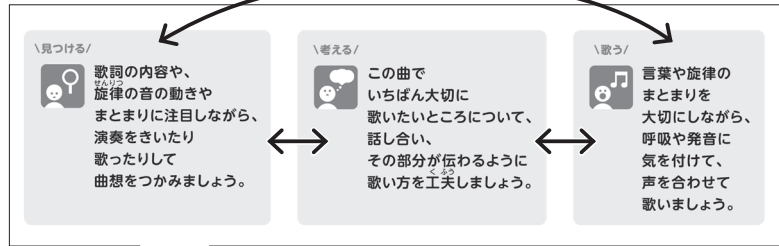
話し合うこと
この歌について、どのような思いがありますか。
歌詞や曲のどの部分が、印象に残っていますか。
あなたにとってふるさととはどのような歌ですか。

曲の理解を深めるために、友達との話し合いや、周りの人へのインタビューなどを通して、様々な思いに触れられるようにしました。

2 子どもたちの音楽的な見方・考え方がより働く構成

●子どもたち一人一人が感じ取った音楽のよさについて、自分の言葉で語ったり表現したりすることができるようになってほしいという思いで構成しました。

活動文は、「考える」「見つける」「歌う、演奏する、つくる」の、それぞれの内容を関連させながら、学びを広げたり深めたりすることができるようにしました。



題材名

学習目標

【題材の最初のページ】

7 音楽で思いを伝えよう

P.50・51

曲想を生かして 表情豊かに歌いましょう。

きっと届ける

1 ふしぎな たねだね やさしい ことばは
2 ふしぎな あめだね やさしい なごみ

めぶきはじめるよ
そっとみこ

たーさーれたーまーはーろをー
たーらーれーまーはーろをー

きーとーそーだてーるよーはーなさくひまーでー
きーとーそーどけーるよーはーなさくよーにー

活動文

卒業に思いをこめて

6年間の小学校生活で、いろいろな人と関わり合いながら、みなさんは成長してきました。卒業するにあたり、先生や家族など身近な人たちへの感謝の気持ちをこめて演奏するときに、音楽の学習で身に付けてきた力を生かして、気持ちが伝わるように表現を工夫しましょう。「卒業式」や「卒業を祝う会」などで、その思いを音楽で表現してみましょう。

だれにどんな気持ちを伝えようかな。

音楽でどのように気持ちを伝えたいかな。

P.54・55

2. ふりかえり

1、雨がふる 風がふく
花がさく 人がすむ
世界のどこかの
小さな街にだかれて
だかれてねむっている

題材のねらい

この題材で何を学ぶのか、どのような学習をするのかを示しました。

学習のまとめ

この題材で何を学んだのかを振り返り、これからの学習につなげるための内容を示しました。



P.34

「おもいだそう」コーナーの設置

以前学習したことをもう一度確かめ、その内容を、新たな学習で生かせるようにしました。

6 教科書の特徴

基本事項	教育基本法の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●教育基本法第二条の「教育の目標」を達成するため、次のような点を重視して編修しました。 ①主体的、協働的な学びを促す。 ②音楽科の確かな学力を育む。 ③生涯にわたって、豊かに音楽に親しむ態度を養う。
	学習指導要領の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ●学習指導要領に示された音楽科の目標を踏まえ、指導すべき内容を網羅しました。
内容	系統性	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階を考慮して、6年間を見通した学習プログラムである「題材」を各学年に設定し、題材のねらいに即した教材を配列して系統的な学びを実現できる内容としました。
	配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ●学習をスムーズに進められるよう題材及び教材を配列し、学習内容の分量も適切になるよう配慮しました。
	学習意欲・主体的な学習態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ●目次とは別に、歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の学習内容について、1年間の学びを俯瞰できるページを設けました。(P.4・5)
	歌唱教材	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の声域や心身の発達段階を考慮して、音域や難易度、歌詞の内容を吟味しました。
	器楽教材	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階を考慮して、段階を踏みながら確実に演奏技能を習得できるようにしました。
	音楽づくり教材	<ul style="list-style-type: none"> ●学習の手順を分かりやすく示すとともに、吹き出しなどで児童の考えや工夫の視点を例示することによって、児童の「思いや意図」をどのように生かすのかが分かるように工夫しました。
	教材のユニバーサルデザインへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階に応じて、多くの児童が無理なく取り組める音域や難易度の中で教材を選択・開発しました。
	鑑賞教材	<ul style="list-style-type: none"> ●児童の発達段階と題材のねらいに即した教材を選択し、学習を進めるうえで有益な写真や絵譜、譜例なども示しました。
	主体的・対話的で深い学び	<ul style="list-style-type: none"> ●「主体的・対話的で深い学び」を実現するために参考となる学びの手順や工夫の視点を具体的に示しました。
	伝統と文化の尊重	<ul style="list-style-type: none"> ●我が国の伝統的な音楽に関わる題材を配置し、それらに親しみながら、表現したり鑑賞したりする学習を進められるようにしました。(P.46・47)
	国際理解	<ul style="list-style-type: none"> ●国際理解教育や外国語の学習との関連から、英語の歌を掲載しました。(P.64・65)
	(共通事項)	<ul style="list-style-type: none"> ●教材を指導する際の目安となる、[共通事項]に示された音楽を形づくっている要素をページ端に表示し、「ふり返りのページ」でも一覧できるようにしました。
その他	ICT 機器の活用	<ul style="list-style-type: none"> ●紙面上の二次元コードから URL を読み取ることによって、学習に役立つ歌唱・器楽教材の MIDI 音源や、音楽づくりや鑑賞の学習をサポートするコンテンツを活用できるようにしました。
	特別支援教育への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ●特別支援教育の専門家から助言を得て、楽譜や文字の配置や見せ方を工夫し、見やすく分かりやすい紙面になるよう配慮しました。 ●色覚問題の専門家から助言を得て、色の見分けがつきにくい児童の色覚特性にも配慮した配色を採用しました。また、学習に必要な情報が、色の違いのみに依存しないよう工夫しました。
	文字・印刷・製本・用紙	<ul style="list-style-type: none"> ●文字は見やすく、過度にデザイン的にならないよう配慮しました。 ●印刷は鮮明で、環境に配慮した植物油インキを使用しています。 ●製本はページどうしを接着した丈夫で長持ちする様式にしました。針金を使わないため、安全性にも優れています。 ●用紙は、児童の持ち運びを考慮し、軽量化した再生紙を使用しています。

2. 対照表

図書の構成		学習指導要領の内容																	
ページ	教材名 ◎…鑑賞教材 / (共)…共通教材	歌唱					器楽					音楽づくり				鑑賞		〔共通事項〕	
		ア	イ	ウ			ア	イ	ウ			ア	イ	ウ	ア	イ	ア	イ	
				(ア)	(イ)	(ウ)			(ア)	(イ)	(ウ)								(ア)
8	つばさをください	○	○	○	○	○												○	
10	ペガサス	○	○		○	○												○	○
12	(共) おぼろ月夜	○	○	○	○	○												○	
16	◎木星																	○	○
18	ラバース コンチェルト						○	○	○		○	○						○	
22	ボイスアンサンブル												○	○	○	○	○	○	○
26	星の世界	○	○		○	○												○	
28	雨のうた						○	○	○	○	○	○						○	
30	「雨のうた」の和音で旋律づくり												○		○		○	○	
32	思い出のメロディー	○	○		○	○												○	
34	◎ハンガリー舞曲 第5番																	○	○
36	◎花																	○	○
40	(共) ふるさと	○	○		○	○												○	
44	(共) われは海の子	○	○		○													○	
46	(共) 越天楽今様	○	○		○													○	
47	◎雅楽「越天楽」																	○	○
48	◎世界の国々の音楽																	○	○
50	きっと届ける	○	○		○	○												○	
52	メヌエット						○	○	○	○	○	○						○	
54	街にだかれて	○	○		○	○												○	
56	歌いごう 日本の歌	○	○	○	○	○												○	
58	Wish ～夢を信じて	○	○	○	○	○												○	
60	いのちの歌	○	○	○	○	○												○	
62	明日という大空	○	○	○	○	○												○	
63	星空はいつも	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○	
64	Edelweiss	○	○	○	○	○												○	
65	あおげばとうとし	○	○	○	○	○												○	
66	旅立ちの日に	○	○	○	○	○												○	
67	そよ風のデュエット						○	○	○	○	○	○						○	
68	木星						○	○	○	○	○	○						○	
70	風を切って	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○	
72	Paradise Has No Border						○	○	○	○	○	○						○	
86	国歌「君が代」	○	○	○	○	○												○	

編修趣意書

(発展的な学習内容の記述)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104-86	小学校	音楽	音楽	第6学年
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
27 教芸	音楽 604	小学生の音楽 6		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取扱いに示す事項	ページ数
84	ステップアップ 休符と名前	1	第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2(9)に関連して、音楽にかかわる用語について、より知識を広げる。	0.25 ページ
85	ステップアップ へ長調の音階、二短調の音階	1	第3 指導計画の作成と内容の取扱い 2(8)に関連して、音階の種類についてより知識を広げる。	0.25 ページ
			合計	0.5 ページ

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容